

(一社)防府薬剤師会だより

清流

第133号

2017.3.31



梅(防府天満宮) 撮影 松浦 紘明

目次

気ままトーク（三田尻病院 西野 加奈子）	・ ・ ・ ・ ・ 1
山口健康福祉センターからのお知らせ	・ ・ ・ ・ ・ 2
服薬指導の実例（山口県立総合医療センター 河済 悠生）	・ ・ ・ ・ ・ 3
定例理事会報告	・ ・ ・ ・ ・ 4
職場紹介（シブヤ薬局八王子店 尾上 志摩子）	・ ・ ・ ・ ・ 8
会員の動き	・ ・ ・ ・ ・ 8
こんにちは和	・ ・ ・ ・ ・ 9
生涯教育	・ ・ ・ ・ ・ 10
慶祝	・ ・ ・ ・ ・ 10
防府薬剤師会新年会に参加して	
（山口県立総合医療センター 原井 耕平）	・ ・ ・ ・ ・ 11
ボディメカニクス研修会に参加して（椎木薬局 椎木 ひとみ）	・ ・ ・ ・ 12
薬学的管理のためのフィジカルアセスメント研修会に参加して	
（家本薬局 家本 亜希子）	・ ・ ・ ・ ・ 12
編集後記	・ ・ ・ ・ ・ 14

— 気ままトーク —

「新しい趣味」

三田尻病院 西野 加奈子

三田尻病院に就職して1年が経った頃、何か新しいことを始めようと考えていました。そこでヴァイオリンを習うことにしました。前々から憧れがあったのと、元々利き手が左だから有利だろうし、高校までピアノを習っていたので楽譜も読めるし、妹が数年前からチェロを習っているの、一緒にアンサンブルが出来たら楽しいだろうなあと軽い気持ちで始めました。

ところが実際に始めてみると、すぐにヴァイオリンは想像以上に難しいことを知りました。単旋律だからと高を括っていましたが、右手と左手が別々の動きをするので、頭では分かっているけど体が全くついていきません。そして一番苦労したのが音程です。ピアノで培ったので音感には少し自信があったつもりでしたが、レッスンで音程が少し高い、低いと先生に指摘されても、その区別がさっぱり分かりません。大人になってから五感を鍛えるのは大変だなと感じながら、練習では常にチューナーとにらめっこ。機械に頼りながら弾いています。最初の頃は、飼っている犬さえも聴くに堪えないからもう止めてくれと私に飛びついたほどでした。4年経ってもまだ教本レベルですが、少しずつでも進歩が見え、弾ける曲が増えていくので楽しいです。

去年の夏、初めて先生から発表会に出てみないかと誘われました。2ヶ月前に自分のレベルより少し難しい曲に決めて、ひたすらその練習。普段はサボることもあり毎週レッスンに追われるように直前に慌てて



猛練習していましたが、この時ばかりは2カ月間ほぼ毎日練習しました。

先生からは、「何回弾いても同じ音が出せるようにしなさい。練習で出来ない事は本番では到底出来ないよ」と激励されました。極端に練習量が増えたせいか、発表会1週間前に弓が壊れるというハプニングもありましたが、何とか当日に間に合いました。

迎えた発表会の日。妹がピアノ伴奏をしてくれました。出来る限り練習はしましたが、まだまだ不確実で、当たって砕けろ的な演奏にとっても緊張しました。練習でも苦労した部分は、やっぱり本番でも上手く出来ませんでした。指が震えながらも途中で止まることなく、なんとか最後まで弾き切りました。演奏後に周りや先生から、「音楽的に弾けていて良かったよ」と言われ、努力すればその成果は出るものだ嬉しく、今年もまた挑戦したいと思いました。

その後はまたボチボチ練習に戻っていますが、テレビでクラシック番組を視聴したり、コンサートに行く機会も増え、アンサンブルが出来る日を夢見て、楽しく弾いています。

山口健康福祉センターからのお知らせ

1 医薬品の適正な流通の確保等について

本年1月、奈良県内にてC型肝炎治療薬「ハーボニー[®]配合錠」偽造品が流通し、薬局において調剤された事例が公表されました。つきましては、医薬品の適正な流通の確保と、同様の事例の発生防止のため、次の対応をとられるようお願いいたします。

- ① 医薬品を譲り受ける際は、当該医薬品が本来の容器包装等に収められているかどうかを、その状態（未開封、添付文書の同梱）等で確認すること
- ② その際、譲渡人の販売業許可等の確認や、適正な流通ルートからの入手であることの確認等、偽造品排除に必要な注意を払うこと
- ③ 医薬品を譲り受けたときは、譲渡人の氏名等に関する記録を作成し、保管すること（医薬品、医療機器等法施行規則第14条）
- ④ 調剤又は医薬品の販売等に際して、医薬品（容器包装等を含む）の状態を観察し、通常と異なる場合は、異常のないものを改めて調剤する等適切に対応すること
※通常と異なるものは販売等しないこと

2 「水素水」及び「水素水生成器」について

昨年12月、国民生活センターから「容器入り及び生成器で作る、飲む『水素水』」の商品テスト結果が示され、その結果を踏まえ「『水素水』には公的な定義等はなく、溶存水素濃度は様々です」との公表がありました。

また、「水素水」には、特定保健用食品（トクホ）や機能性表示食品として許可・届出されたものではなく（本年1月20日現在）、「さまざまな病気の原因といわれる悪玉活性酸素を無害化する」等の健康保持増進効果と受け取られる表示があるものが認められ、これらは法令に抵触する恐れがあることも示されました。

つきましては、「水素水」の広告又は販売等に際して、**効能効果の標榜等**にご注意ください。

（参考）国民生活センターのHP http://www.kokusen.go.jp/news/data/n-20161215_2.html

3 毒薬の貯蔵について

毒薬の貯蔵については、医薬品、医療機器等法第48条の規定に基づき、他の物と区別して、貯蔵し、又は陳列しなければならないとされています。

また、貯蔵場所には鍵を施す必要があり、冷暗所で保管する場合であっても同様に施錠が必要です。ご確認ください。

注意

- ※覚せい剤原料等と同一の引き出しに貯蔵する場合は、毒薬専用の金庫等を引き出し内に設けること（手さげ金庫は認められない）
- ※常時施錠してあること

－ 服薬指導の実例 －

「服薬指導で気をつけていること」

山口県立総合医療センター 河津 悠生

この場におきましては、はじめましてとなります。総合医療センターの河津(かわすみ)と申します。拙い文章で恐縮ですが、しばしお付き合い頂けると幸いです。

さて早速本題に入りたいのですが、まずもって職務経験の浅い私が「服薬指導」についてとやかく言えることなどあるはずがありません。患者さんへの指導だけでなく、医師への問い合わせや看護師との会話においても、こう言えば良かったとか、もっと分かり易く言えなかったか等々後から反省することばかりです。従って、こうするといいですよとかではなく、私自身が服薬指導の際に気を付けていることを中心に話をさせていただきたいと思います。

気を付けている点は主に3つです。まず1つ目は、欲しい情報を先に聞くことです。例えば、術前中止薬や持参薬、アレルギー(薬剤等)についてです。私の話の下手さから後に回すと聞きそびれてしまう可能性があり、そうすると患者さんにも手間を取らせることにもなるので先に聞くように心がけています。多くの患者さんは主治医の指示をしっかりと守っておられますが、まれに術前中止薬の中止日や中止薬を間違えていたことが分かったこともありました。こういったことをしっかりと拾えるように、重要と思われる話を先に聞くようにしています。

次に、よく言われることではありますが、出来るだけ平易な言葉で話すことです。病棟担当以外では患者さんと話することは少ないため、いざ病棟で指導する際についつい専門用語が口を突いて出てきてしまいます。そのため、一度頭の中で単語や文章を噛み砕いてから話をするようにしています。もちろん、比較的若い患者さんにはあまりに噛み砕いても分かりにくくなってしまうので、そのバランスにも気を付けています。

3つ目は、少しでも自然な会話にすることです。何度も言うように私自身かなり口下手で、特に忙しく余裕がない時には必要なことを聞くだけになってしまいがちなので、こちらから一方的な話にならないように意識しています。例えば、手術や化学療法を予定している患者さんに「最近冷え込む日も多いので、風邪をひかれないよう気を付けてくださいね。」と付け加えるだけでも、患者さんの反応は違ってくるように思います。とは言え、まだまだうまく出来ないことが多いので、しっかり話ができるようにならなければと考えています。

また話は変わりますが、服薬指導の際にはカルテから医師や看護師の記録、前回の薬剤師の指導記録、処方歴や検査値等必要な情報に目を通してから、ということになります。これらの情報をうまく利用することは、さらに効率的・効果的な指導には必須であると思います。従って、情報の収集・活用するスキルも併せて磨いて行かなければと考えています。

ここまで当たり前の話を取りとめもなく書いてまいりましたが、僅かでも今後の服薬指導の参考になることがあれば幸いです。

私自身も薬剤師としてレベルアップできるよう勉強して参りますので、今後ともどうぞよろしくお願い致します。

— 定例理事会報告 —

平成 28 年度 第 8 回 定例理事会

開催日時：平成 28 年 11 月 4 日(金)19：48～21：23

開催場所：防府薬剤師会館

出席理事：松浦、三堀、椎木、白野、原田、舟谷、吉岡、越智、山内

出席監事：渡

オブザーバー：永田事務長

議 題

【協議事項】

1.防府健康フォーラムの反省：三堀副会長 来場者数：312 名（カウンター確認数）+スタッフで、約 400 名。スタッフの担当振分けが不十分。部門別責任者(理事)の決定（スタッフへの指示）血液検査について検査担当者、検査を終了した人に対応する担当者を選定する。集合時間の検討（時間が早い）

2.新規入会者：椎木副会長 祢津 友樹先生（フェリス薬局 松崎店）出席理事全員賛成で承認。

3.理事会及び忘年会、会の新年会：椎木副会長

【報告事項】

1.ジェネリック医薬品の使用促進に関する地域意見交換会の開催について：椎木副会長

開催日時：平成 28 年 11 月 28 日(月)19：30～

場所：防府薬剤師会館

出席者：医師会 歯科医師会 総合医療センター 健康福祉センター 薬剤師会

2.介護認定委員の推薦について：事務局 現委員（6 名）任期が平成 28 年度末で終了のため新委員の推薦依頼あり。再任で推薦する（新任の場合、選定は三役に一任する）

3.山口コアカレッジから薬局クラーク実習の受入れ依頼について：事務局 防府地区 3 名の受入れ依頼。受入薬局：寿町薬局・防府栄町薬局・シブヤ薬局下右田店にお願いする。

4.10 月の退会者：事務局 豊嶋 由理恵 先生（まりふ薬局）10/24 付退職

5.その他：事務局 県立総合医療センター薬剤部の

FAX 機交換、11/8 の予定。県総 F A X コーナーにパート 1 名採用。(現状 4 名でのシフト調整が厳しい為)

関連事項・その他

1.県薬関係

①舟谷理事（保険薬局部会）・ソバルディ処方について 転売目的防止に繋がった事例・ヒヤリハット 2 事例の報告。

②会長 11/24 開催の地域・職域薬剤師会協議会に出席予定。

③越智理事（県薬理事） 11/20 県フォーラムの登録状況、防府、山口、吉南が 25～26 名が多い。

2.保健所・保健センター・その他行政関係

① 会長・県立総合医療センターの認知症疾患医療センター山本看護師から、在宅医療連携室（医師・薬剤師・看護師・介護職）において、県からの委託事業、認知症疾患医療協議会を 2/16 に開催する。問題点として、薬の管理が不十分で、副作用、病状の悪化等があり、訪問薬剤師から現状について説明をお願いしたい。（越智理事へ依頼）

② 舟谷理事・緊急連絡網の整備完了。最終確認のためメール配信予定の案内文書を確認。

3.会営薬局関係 月次業績：吉岡管理薬剤師・10 月実績：処方箋枚数、前年同月比プラスであるが収入は減少。

委員会活動

1.保険薬局委員会：舟谷委員長 11/8、協議会開催。

2.生涯学習委員会：三堀委員長 11 月の研修会開催日程について説明。

3.広報委員会：白野委員長 清流 132 号の原稿依頼中。

4.学校薬剤師委員会：山内委員長 10/27、学校保健研修会で松浦泰子先生が講演。

5.在宅医療推進委員会：越智委員長 10/26.他職種連携ワークショップ、参加者 35 名。県薬主催の研修会 12/15.ボディメカニクス研修会を開催。フィジカルアセスメント研修会 1 月の開催予定で定員を設定する。

6.小委員会・チーム 休日診療所：椎木担当理事 患者数はまだ多くない、インフルエンザA型が1名。

平成28年度 第9回 定例理事会

開催日時：平成28年12月6日(火)19：40～20：33

開催場所：佐じか

出席理事：松浦、三堀、椎木、白野、舟谷、吉岡、越智、山内、松井

出席監事：渡

オブザーバー：永田事務長

議 題

【協議事項】

1.新規入会者：椎木副会長 山内 秀威先生（山内薬局） 岡村 有希先生（無所属）三宅 小織先生（コスモ薬局） 廣谷 香織先生（コスモ薬局）
出席理事全員賛成

【報告事項】

1.ジェネリック医薬品の使用促進に関する地域意見交換会の報告：椎木副会長

- ・開催日時：平成28年11月28日(月)19：30～
- ・場所：防府薬剤師会館
- ・参加者 医師会：蓮池先生・歯科医師会：杉山先生・総合医療センター：三好薬剤部長・健康福祉センター：環境衛生課薬事班 香川主査・薬剤師会：三役、松浦泰子先生、椎木ひとみ先生
- ・アンケート結果報告（詳細は協議会で発表する）
加算取得の50%を、44%の薬局が取れていない。採用基準は、安定した供給とメーカーを重視している。・先発メーカーに働きかけ勉強会を行う。・推進策として医師会、歯科医師会の先生に理解を得るための勉強会を開催する。

2.会営薬局の薬剤師の配置について：吉岡管理薬剤師・豊田麗子先生をパートへ変更（午前中）する。・新規パートとして山根雅江先生（午後）を採用する。

関連事項・その他

1.保健所・保健センター・その他行政関係 ・三堀副会長：三師会健康フォーラムの収支報告

2.会営薬局関係 月次業績：吉岡管理薬剤師 11月実

績：処方箋枚数、前年同月比プラスであるが収入は減少。会長より、デッド在庫を理事会で報告のこと。

委員会活動

1.保険薬局委員会：舟谷委員長 協議会 12/13。

・災害対策小委員会 緊急連絡網の整備完了。最終確認のためメール配信のテスト送信案内文を確認。

2.生涯学習委員会：三堀委員長 12月の研修会開催日程について説明。

3.広報委員会：白野委員長 清流125号の原稿依頼、編集集中。

4.在宅医療推進委員会：越智委員長 12/15 ボディメカニクス研修会 1/22 フィジカルアセスメント研修会 2/4.5 日本ホスピス在宅ケア研究会全国大会（久留米）越智先生発表

5.小委員会・チーム 休日診療所：椎木担当理事・インフルエンザ、昨年より早い。

平成28年度 第10回 定例理事会

開催日時：平成29年1月13日(金)19：43～19：15

開催場所：防府薬剤師会館

出席理事：松浦、三堀、椎木、白野、舟谷、原田、吉岡、越智、山内、松井

出席監事：渡

オブザーバー：永田事務長

議 題

【協議事項】

1.新年会について：椎木副会長 出席予定者：52名
じゃんけんゲーム進行：吉岡先生

2.コピー機（薬局・事務所）の買い換えについて：事務局 薬局8年経過、事務所5年経過しており業務効率改善から買い換えを検討する。カウント料金額も減額となる。現状と変更後の比較資料がなく検討できないため、比較表作成し協議を三役一任で承認する。

3.公益事業（体験セミナー）・健康フェア実施について：松浦会長

①健康フェア：7月～8月に実施する。講演なし、フェアのみとし、実行委員会を設置する。各委員会は

委員会での実施内容等を策定、委員長が指示する。
実行委員会委員長は親睦委員会を主体とするため松井理事を統括責任者とする。開催場所として（候補順）1・デザインプラザ 2.アスピラート 3.イオンタウン 4.サンライフ・イオン 健康フェア実施について理事全員承認。

②体験セミナーについて ・意見として菓草園、工場見学（日曜稼働先があるか?）会長より意見を参考に親睦委員会で検討すること。

【報告事項】

1.会営薬局について：事務局・豊田麗子先生：1/16からパートへ変更・山根雅江先生：パート新規採用1/16から・事務局：山田 1/15 付で都合退職（パート採用予定）

2.看護学校から講師派遣依頼：事務局 引き続き椎木康之先生を推薦する。

3.会営薬局待合室へのTV設置について：事務局設置する。

関連事項・その他

1.県薬関係・越智理事 研修会参加者で、県薬会員ではない日薬会員は非会員扱いとなり、会費が必要。日薬会員証持参の場合無料とする。

2.保健所・保健センター・その他行政関係 舟谷理事・災害用Gメールアドレス作成済。・9/9 薬歴講習会実施。

3.会営薬局関係 月次業績：吉岡管理薬剤師・12月実績：処方箋枚数、前年同月比プラスであるが収入は減少。

委員会活動

1.保険薬局委員会：舟谷委員長 2/14、協議会開催。

2.生涯学習委員会：三堀委員長・1月の研修会開催日程について説明。

3.広報委員会：白野委員長・1/1 清流 132 号発行。HP、年末輪番薬局追加。

4.学校薬剤師委員会：山内委員長・2/2 たばこ対策事業における健康教育に関する研修 松浦 泰子先生 講師として事例紹介する。

・学薬の担当者変更予定 吉原先生担当先：防府高

（吉岡）・防府商工（林）・高川（三堀）・佐波中（中原） 山内秀昭先生担当先：国府中（大庭）・牟礼中（山内裕之）

5.在宅医療推進委員会：越智委員長・12/15.ボディメカニクス研修会報告 ・1/22 フィジカルアセスメント研修会・2/16 医療センター認知症疾患協議会報告のため1月中に会議を実施する。・2/4・5 在宅ケア研究全国大会参加（久留米）おくすり管理BOXのポスター発表

6.小委員会・チーム 休日診療所：椎木担当理事・インフルエンザ 27 名。1/15～2/26 まで2人体制とする。

平成28年度 第11回 定例理事会

開催日時：平成29年2月2日(木)19：40～21：10

開催場所：防府薬剤師会館

出席理事：松浦、三堀、椎木、白野、原田、舟谷、吉岡、越智、山内、松井

出席監事：渡

オブザーバー：永田事務長

議題

【協議事項】

1.健康フェア実施について：椎木副会長 ・開催日時：平成29年7月23日（土）9：00～17：00 ・場所：デザインプラザ HOFU・イベントホール

①イベント内容の検討（各委員会）

・生涯学習委員会：血液検査、スポーツファーマシストによる相談等。

・保険薬局委員会：分包機体験、石鹸作り体験、薬用茶の飲み比べ等。

・学校薬剤師委員会：薬物乱用パネル掲示、アルコールパッチ体験等。

・在宅推進委員会：おくすり管理BOX、カレンダーの使用説明。リハビリ（嚥下等）、栄養補助食品の使用説明等。

②共催・後援先の検討・前回先を参考に委員会で検討する。

2.コバスの購入について：椎木副会長 会で購入を

検討・3～5 台の購入を検討する。(公益目的計画支出額となる) 見積書別紙。意見: 貸出対応でイベント、健康相談等に利用できる。問題点: 保守契約、使用許可手続の確認、貸出についての利用規則等が必要。・運用規定の作成、使用認可手続確認後協議する。

3.新年会の反省: 椎木副会長・場所: 今後はグランドホテル、アパホテルを検討する。

・来賓の検討: 防府市議会議長の招待。・イベント内容 景品等は今後もあった方がよい。演奏時間が長い。(演奏者の食事等を配慮する)

4.新規入会者: 椎木副会長・福田 涼子先生(いくも薬局 天神店)・久世 亜貴子先生(そうごう薬局 三田尻店) 出席理事全員賛成で承認。

【報告事項】

1.退会者: 椎木副会長・柳 稔尚先生(新くわのやま薬局)他地区異動・松村 直子先生(フェリース薬局 松崎店)退職・青木 千穂先生(そうごう薬局三田尻店)他県異動・中村 愛加先生(三田尻病院)退職

2.会営薬局待合室のTV 設置完了: 椎木副会長

3.薬局・事務所のコピー機交換について: 椎木副会長・前回理事会協議事項、比較検討資料等不足から協議を三役一任で承認。・三役で比較検討資料に基づき協議。経費比較でリース料込の金額は年間約 6 万円増加となるが、ペーパーレス FAX 受信によるカウント減、コピー用紙の削減等が図れる。機能の向上により効率改善も図れることから承認し、交換を行った。

関連事項・その他

1.県薬関係

①会長・2/23 開催の地域・職域薬剤師会協議会に出席予定。

②越智理事(県薬理事)・日本薬剤師会学術大会の準備委員会を立ち上げた。

・山口東京理科大の実習生受入について 1・2 年の段階で 1 日薬局体験を実施する。山陽本線沿線の薬局へお願いする。

2.会営薬局関係 月次業績: 吉岡管理薬剤師・1 月実績: 処方箋枚数、前年同月比プラスであるが収入は減少。

3.災害対策事業: 舟谷委員長・2/28 懇親会
委員会活動

1.保険薬局委員会: 舟谷委員長・薬歴講習会の開催日: 9/9(土)・かかりつけ薬剤師、みなし認定は再度申請が必要。・協議会 2/14 開催

2.生涯学習委員会: 三堀委員長・2 月の研修会開催日程について説明。

3.広報委員会: 白野委員長・清流、3 月末発行、今年度最後。

4.学校薬剤師委員会: 山内委員長・2/25(土) 定例会開催。

5.在宅医療推進委員会: 越智委員長・1/22 フィジカルアセスメント研修会開催、好評でシリーズ化を検討する。・2/16 山口防府認知症疾患センター協議会出席。(県総大会議室)

6.小委員会・チーム

①親睦小委員会: 松井委員長・体験ツアー: 5/21(日) 開催予定でプラン作成中(防長トラベル)佐賀、中富記念くすり博物館見学、体験コーナー等。募集方法として、ほっぷ掲載、ホームページ掲載、FM わっしょい、ポスター、チラシ配布(薬局)等で周知する。

②休日診療所: 椎木担当理事・インフルエンザ流行中で 2/26 まで 2 人体制とする。その後様子をみて検討する。

— 職場紹介 —

シブヤ薬局八王子店 尾上 志摩子

こんにちは。シブヤ薬局八王子店です。
当薬局は、開局して約10年になります。

佐波小学校のグラウンドのそばにあり、昼休みや運動会の前には子供達のにぎやかな声が聞こえてきます。

スタッフは薬剤師2～3名、事務員3～4名の体制で、ともに女性が多く、狭く小さな薬局ながら、明るく楽しく一生懸命に業務をこなしています。

赤ちゃんから高齢の方まで割と幅広い年齢の方にご利用いただいておりますので、泣き声あり笑い声ありとにぎやかな毎日です。

近隣の薬局様をはじめ、市内の薬局様には、お薬の買い取り等で大変お世話になっております。これからもよろしくお願いします。

さて、日々の業務で多いのは、軟膏や散薬の混合です。混合するのに時間がかかり、お叱りをいただくこともしばしば…。特に冬場は処方の量も多くなり、軟膏のチューブは硬くて硬くて、指が痛くなります。また、世間では少子化と言われますが、3、4人と兄弟が多い方も結構おられるので、同時にいらっしゃるとバタバタします。

反省の毎日ですが、少しでも患者様に寄り添えるように頑張っております。

みなさんよろしくお願いします。



— 会員の動き —

◇入会◇

久世 亜貴子 そうごう薬局三田尻店
福田 涼子 いくも薬局天神店

◇退会◇

柳 稔尚 新しくわのやま薬局
松村 直子 フェリース薬局松崎店
青木 千穂 そうごう薬局三田尻店
中村 愛加 三田尻病院

◇変更◇

落合 良彰 セイエル → シブヤ薬局下右田店
蔵田 邦彦 蔵田薬局 → 無所属
青木 典子 桑陽病院 → 無所属

— こんにちは —

ふりがな すいつ まさと
氏名：水津 真人

血液型：B型

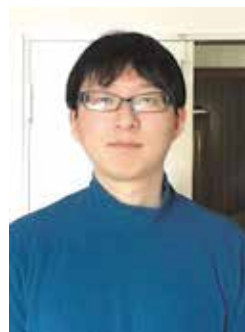
出身大学：福山大学（平成 28 年度卒）

勤め先：医療法人 貴和会 防府病院

趣味：PC自作、音楽鑑賞、読書

好きな言葉：朝に道をききては夕日に死すとも可なり

ひとこと：常日頃から、どうしたら患者さんにもっと笑顔になってもらえるかを考えながら仕事をしています。先輩方のアドバイス待ってます！
それでは、よろしくお願いいたします。



ふりがな や の ひろし
氏名：矢野 弘

血液型：A型

出身大学：神戸学院大学(平成 17 年度卒)

勤め先：昭和薬局

趣味：将棋、サッカー観戦

好きな言葉：人間万事塞翁が馬

ひとこと：福岡、島根、広島で仕事をしてきました。防府は初めての土地ですが、恵み豊かな自然の中で伝統を重んじる礼儀正しい人たちと仕事ができる喜びを日々感じております。



ふりがな たくの じゅんいちろう
氏名：宅野 純一郎

血液型：A型

出身大学：第一薬科大学（平成 5 年度卒）

勤め先：防府栄町薬局

趣味：ゴルフ・家族旅行

好きな言葉：為せば成る

ひとこと：まだまだと思っていたこのコーナー(こんばん和?)に紹介されるとは年を感じる…です



－ 生涯教育 －

○ 12 月 8 日（木） 出席者数：23 名（内薬剤師数 23 名 内会員数 21 名）

操薬トーク in 防府

JPALS コード「35-2016-0194-101」

「最新の医薬関連情報（8～11 月度）と症状からみる病態生理（全身倦怠感）」

広島大学大学院医歯薬学総合研究科 教授 森川 則文 先生

○ 12 月 15 日（木） 出席者数：38 名（内薬剤師数：25 名 内会員数 25 名）

ボディメカニクス研修会

JPALS コード「35-2016-0195-101」

「ボディメカニクス～介護の基本動作～」

サンキウエルビー株式会社 介護センター下関 原田 節子 先生

○ 1 月 22 日（日） 出席者数：32 名（内薬剤師数：30 名 内会員数 25 名）

薬学的管理のためのフィジカルアセスメント研修会

JPALS コード「35-2016-0196-101」

「薬剤師に必要なフィジカルアセスメントの理念」

山口県薬剤師会 戸田 康紀 先生

「実技演習（バイタルサインの測定手技）」

防府看護専門学校 清水 三幸 先生、安光 伸枝 先生

「実技演習～発表会」

○ 1 月 27 日（金） 出席者数：52 名（内薬剤師数 29 名 内会員数 21 名）

防府医師会共催学術講演会

JPALS コード「35-2016-0208-101」

「選択的 SGLT2 阻害剤 ルセフィ錠について」

大正富山医薬品株式会社

「高齢者糖尿病の血糖コントロール目標と治療の適正化について考える」

フジイ内科医院 院長 藤井 新也 先生

－ おめでとうございます －

平成 28 年防府薬剤師会の 3 名の先生が表彰を受けられました。

平成 27 年度 山口県薬剤師会会長表彰 田中 實 先生

平成 28 年度 薬事功労者 知事表彰 手山 三十鈴 先生

平成 28 年度 山口県選奨・山口県学校保健功労者表彰

松村 秀樹 先生

平成 28 年度 山口県学校保健連合会表彰

松村 秀樹 先生

— 防府薬剤師会 新年会に参加して —

山口県立総合医療センター 原井 耕平

今年 1 年目の新人薬剤師の私は、この地域での薬剤師間の交流を目的に今回の新年会に参加いたしました。いざ当日に来てみると、皆様しっかりとした服装でジャケットを着ていらっしゃいました。服装は自由とのこと、パーカーを着て参加してしまった私は少し恥ずかしい思いをしたことを覚えています。次回こそは、しっかりとジャケットを着こなして向かおうと思いました。

会場に入場して辺りを見渡すと、予想通り初対面の人ばかり。数名は勉強会で顔を合わせた先生方もいらっしゃいましたが、自身の職場の先輩以外は知らない、初対面ばかりの新年会の席に少し戸惑いました。なるべく面識と見聞を広げていこうと積極的に話し掛けて行きました。普段の工作中では実際に顔を合わせて話すことは少ない薬局の薬剤師の先生方と、新人の私は滅多に会うことのない卸売業者の方々。それぞれの目指したきっかけや今の仕事でやりたいこと、私の立場である病院薬剤師に求めることといった真面目な話から、プライベートでの過ごし方といった仕事抜きの私的な話まで様々なことを聞き、話すことが出来たかと思います。新年会の始めは緊張からか少し堅い空気でしたが、



バイオリン演奏が始まる頃にはすっかり飲み会の緩やかさに。同じ席の方々も私も、立席して挨拶回りに向かったことを覚えています。

同じ薬剤師とはいえ、このような「会としての集まり」の他には「勉強会」でしか他の職場と交流をする機会を得られにくい為、今回の新年会の出席は自身にとって大きなプラスになったと考えております。特に私は、家族も私も山口県民ではなく、新人 1 年目から初めての土地であり不安を感じることも多くありました。私はうまく山口県民として馴染んでいるでしょうか、山口県の薬剤師として役割を担えているでしょうか？今後も精進し、防府薬剤師会のご活躍と発展に少しでも力添え出来ればと思います。



ー ボディメカニクス研修会に参加して ー

椎木薬局 椎木 ひとみ

平成 28 年 12 月 15 日（木）にルルサス防府 2 階多目的ホールにて、『ボディメカニクス～介護の基本』が開催されました。「ボディメカニクス」とは力学的原理を活用した介護技術のことで、介護する側にとって無理のない自然な姿勢で介護する技術のことだそうです。

当日は、始めにウォームアップとしてデイサービスで行われる準備運動を行いました。ご高齢の方でも無理なく出来る準備運動という事でしたが、日ごろ運動していない私にとってはかなりの負荷でした。介護技術の実践としては、①杖を使用されている方の歩行介助、②車椅子利用時の介助方法、③ベッド上での体位交換の 3 つの課題を行いました。当日は介護者と介護される側両方の立場で演習を行いました。片足に重りを付けて杖で階段を登り降りしたり、車椅子に座って介助者に身を委ねたり、ベッド上で体位交換されたりと、介護される側を演じることが出来、介護される方々の不安や心許なさを体験することが出来ました。また介護者の立場としては、ちょっとした声掛けや手の添え方で、介護者の労力が少なく済むことを体験させて頂きました。ボディメカニクスをうまく活用すると介助者の疲労が少なく、介護される側にとってもストレスが少ないことを実感できる良い機会でした。当日はサンキウエルビのスタッフの皆様に丁寧でわかり易いご指導をいただきました。プロの実演は無駄な力が入っておらず対象者を緊張させない感じで、自分が介護する側になったらこういう風に出来たらいいなと思いました。身体に覚えさせるには繰り返し練習することが必要です。こういう研修会は継続して開催していただきたいと思いました。今回参加出来なかった方も次にこういう機会があれば是非参加して頂きたいです。



ー 薬学的管理のためのフィジカルアセスメント研修会に参加してー

家本薬局 家本 亜希子

1 月 22 日ルルサスのホールにて県薬主催のフィジカルアセスメント（以下、PA）研修会を開催しました。

私が県薬の地域医療・保健委員会の地域担当として、今年度内にボディメカニクス研修と PA 研修を行うために講師や日程を決め始めたのが 6, 7 月。11 月に Scenario という（最新版フィジコ）人形が県薬に届き、年末から準備で混乱しながら、1 月に第 1 回周南、第 2 回防府開催を迎えました。年明け早々、23 名のご参加、越智先生・舟谷先生のご協力、本当にありがとうございました。今回はスタッフの目線で紹介・報告します。

約5時間、前半に血圧測定など手技を教わる講習、後半はグループワークをしていただきました。「薬剤師に必要なPAの理念」を日薬の資料を元に山口県薬剤師会の戸田先生から解説があり、前半は防府看護専門学校の清水三幸先生・安光伸枝先生よりPAの基本を楽しく教わりました。聴診器・アネロイド血圧計をマスターするのが目的ではありません。また、知っているつもりのパイタルを改めて教わり、看護師さんはどういう目線で患者さんをみているのか、PAにより正確な情報を得るのがどれだけ大変か、今回の内容を自分はどう活かすかを考えていただければ十分です。そして後半は「在宅訪問」をグループで体験・討議する時間、お人形の登場です。ScenarioにはPCと連動して色々な年齢・症状を設定でき多くの体験ができます。ただ「聞きたい質問をグループで決めてから訪問する。訪問時間は10分」と決まりがあり、その後グループごとの発表の準備もあるため、人形に多く触れて機能を体験する時間はなく申し訳ございませんでした。

一昨年、スタッフは「情報はその場で知る。書籍・ネット検索不可」で試行していて、その経験から、参加者には基本情報を一週間前に配布しました。内容は「独居の高齢者の自宅へ一人で訪問し、基本情報、聞き取った情報・アセスメントした情報から、その場でどう対応するか具体的に考えてください。」というもの。6人グループに分かれて討議後、演習で習った手技を実践し、訪問しないとわからない情報を探ってもらいました。詳細は、参加された方に聞くかYPジャーナル掲載をお待ちください。

今回のケースワーク、状況こそ在宅か薬局の違いはあるけれど、昨年1月にセミナーパークで行われた昭和大の木内先生の講演「臨床判断とトリアージ」や、JPEC 薬剤師研修支援システムのeラーニングで申込みできる「薬剤師の臨床判断と一般用医薬品適正使用研修会(同じく木内先生)」でのワークと似ています。このケースワークは疾患当てが目標ではありません。「薬局薬剤師が、医療機関でない場所で、目の前の人を見て聞いて確かめる。そこから推測・判断できる選択肢(疾患・症状)をその場で頭の中からどれだけ引き出せるか、そしてその複数の選択肢に対し、生活・服薬指導で良いのか、受診勧奨か、緊急対応か? じゃあ実際どうすればいい? を実践する」ことだと思います。eラーニングは有料ですがオススメです。4月以降も受講可能ではないでしょうか? 今回参加できなかった先生も雰囲気がわかると思います。

また、今回は病院薬剤師さんも6名参加してくださいました。薬局薬剤師との討議はいかがでしたか? 周南でも、ある先生がおっしゃっていましたが、こういった研修を通して顔の見える関係ができていけばいいなと思います。

最後に、今回の設定や状況について、参加された方々の経験と合わないことも多少出たようですが、準備不足と今後の課題ということでご容赦ください。今後、また似た研修を行う際にはファシリとしてアドバイスしていただけると助かります! 準備には知識と人手が必要なのです。アンケートには書けなかったご意見・気づきもどんどんお寄せください。



■編集後記■

2月末、表紙にもあるような綺麗な“梅”を見に行きました。3月に入り、子供達との散歩中に“つくし”が生えているのを見つけました。まだまだ寒い日もありますが、春が少しずつ近づいていると感じました。

清流が皆様のお手元に届く頃には“桜”も咲き始めているでしょうか。4月からの新年度も広報誌「清流」の更なる充実をはかっていきたいと思いますので、今後ともご協力お願いいたします。

また今回から新メンバーが広報委員会に加わることになりました。よろしくお願いいたします。

(一社)防府薬剤師会 広報委員会

(白野 陽正、松井 都世子、渡邊 太朗、佐藤 洋平、青谷 元喜、安田 彩乃)

発行所

〒747 - 0028 防府市東松崎町 4 - 23

(一社)防府薬剤師会

TEL:0835 - 38 - 4360

FAX:0835 - 38 - 4371

URL:<http://hoyaku.jp/>

e-mail:info@hoyaku.jp

発行編集人 松浦 紘明

印刷所 瞬報社オフリン印刷株式会社

山口市小郡下郷 2410

TEL:083-972-5678

無断複写、転載を禁じます。